

地方創生先行型交付金事業検証用シート

交付金事業名	人材育成支援事業
事業名	⑩ 若手観光ガイド育成事業
担当課	観光推進課

事業概要

県内唯一の観光科を持つ十和田西高等学校の生徒を対象とした観光ツアー造成研修等を実施し、地域の人材育成事業を推進した。

- ・事業内容
 - 観光ツアー造成研修事業
 - JR駅からハイキング事業
 - JR観光路線バスを活用した体験学習事業

KPI（重要業績評価指標）の進捗状況

KPI (重要業績評価指標)	平成27年度 目標値	平成27年度 実績値	平成27年度の 進捗状況
地域の魅力に誇りを持っている生徒の割合	80%	100%	達成
観光PRボランティア等へ従事する観光科の生徒数	延べ160人	112人	未達成

総合戦略上の位置づけ

基本目標	具体的な施策・事業		
1 地域における安定した雇用を創出する	1-3-3 観光客の満足度を高める受け入れ態勢の整備 ・観光客利便性向上事業		
総合戦略上のKPI (重要業績評価指標)	現状値 (平成26年度)	目標値 (平成31年度)	
年間観光客入込数	271万人	300万人	
年間観光消費額	344億円	380億円	

先行型交付金事業の進捗の分析・今後の展望

【平成27年度 達成率】99%
【方向性】引き続き、地域の人材育成に努める。

●今後も、県内唯一の観光科を持つ青森県立西高等学校と連携し、地元高校生が観光事業を通じて地域の魅力に気づき、誇りに思う観光地域づくりを推進することで、将来の市の観光振興を担う人材を育成していく。

事業名	若手観光ガイド育成支援事業 ①観光ツアー造成研修事業（市内巡検）、②JR駅からハイキング事業、③JR観光路線バス活用事業			事業年数	○ 新規	継続																
開催日時	①平成27年11月4日（水）、②平成27年10月25日（日）、③平成27年11月7日（土）			入込客数	初日	人																
開催場所	①市内各地、②奥入瀬溪流、③八戸市～十和田市				2日目	人																
対象	市民及び観光客			昨年度の参加者数	人																	
				参加者数の目標値	人																	
				前年比																		
実施目的	<p>地元高校生が観光事業を通じて地域の魅力に気づき、誇りに思う観光地域づくりの推進を目的に、県内唯一の観光科をもつ青森県立十和田西高等学校と連携し、観光ツアー造成研修やJR駅からハイキング等を実施する。 ※①②は十和田エイトラインでH26まで実施。</p>																					
情報提供方法	市広報		パンフ・ポスター		放送・新聞	○																
	説明会等		インターネット		その他	○																
連携している団体・課等	青森県立十和田西高等学校、JRバス東北(株)、JR東日本旅客鉄道																					
事業の概要	<p>①観光ツアー造成研修事業（市内巡検） 十和田市ガイド団体とともに、「稲生川取水口」と「太素塚」で十和田市の成り立ちを学び、市街地を歩くことで昔と今の十和田市の歴史を体感し、また、観光施設を訪問することで現在の十和田市の観光について知る市内巡検コースを造成・実施した。 【参加生徒数】観光科1年生33名（他1名当日欠席）、教諭3名</p> <p>②JR駅からハイキング事業 奥入瀬溪流エコロードフェスタ時に十和田西高等学校生が実施している高校生ボランティアガイドウォークを旅行商品化するため、JR東日本が実施している「駅からハイキング」を導入し、高校生のガイドスキルの向上を図った。 当日は、悪天候でハイキングには向かない天気となったものの、西高生の元気な説明や、地元ガイド団体の詳しい説明が大変好評であり、また、念願の奥入瀬溪流を歩いて満足だったという参加者が多かった。 ※高校生ガイドは石ヶ戸から雲井の滝まで。以降は地元ガイド団体がガイドを実施。 【参加生徒数】72名（2・3学年 観光科40名、2学年 普通科32名） 【駅からハイキング参加者】24名</p> <p>③JR観光路線バス活用事業 JR東北の観光路線バス おいらせ号（八戸駅から十和田湖休屋）へ試乗し、車窓からの風景やバス車内での観光案内ガイド等を確認し、バス利用者の満足度向上を図るための施策について考える体験学習を行った。 【参加生徒数】観光科2年生7名、教諭1名</p>																					
	<table border="1"> <tr> <td>託児サービス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主たる開催曜日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主たる開催時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>午前</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>午後</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td></td> </tr> </table>	託児サービス		主たる開催曜日		平日		主たる開催時間		午前	○	午後	○	夜間		実施回数						
託児サービス																						
主たる開催曜日																						
平日																						
主たる開催時間																						
午前	○																					
午後	○																					
夜間																						
実施回数																						
成果と課題	<p>○成果 各事業を通じ、全ての高校生が「地域の魅力に誇りを持つことができた」と回答した。 また、JR観光路線バス活用事業においては、JRバス東北から「高校生を活用した車内案内を検討したい」と要望をいただいた。</p> <p>●課題 高校生を活用した事業は、関係団体や観光客からも注目度が高い取り組みである。しかし、端的（イベント）として実施は可能であるが、学生である以上、本人たちにあまり負担にならないように実施する必要があるため、今後の拡充が難しい。</p>			   																		
	係名	観光企画係	担当者	長畑主査																		

若手観光ガイド人材育成支援事業評価アンケート

お忙しい中、大変恐縮ですが、今年度実施した若手観光ガイド人材育成支援事業の効果検証のため、アンケートへご協力くださいますようお願いいたします。

◇あてはまるものに○をつけてください。

回答者

担当クラス 1 学年主任

氏名

1. 市内巡検について

市内巡検を実施して、参加した学生が地域の魅力に誇りをもったと感じましたか？

◆地域の魅力に誇りをもつことができた生徒の割合

(100%) 90~80% 70~60% 50~40% 30~20% 10%以下)

◆良かった点、改善したい点がありましたら、ご記入ください

(今回のミッションによる探検は、生徒にとって地域の魅力を知る楽しい体験となった)

2. JR 駅からハイキング 紅葉の奥入瀬溪流ウォーキングについて

観光ガイドを行った学生の人数を教えてください。

◆奥入瀬溪流での観光ガイド案内を行った学生の人数

69人 (内訳 2・3 学年 観光科 37人、 2 学年 普通科 32人)

◆JR 七戸十和田駅～奥入瀬溪流区間のバス車内での観光案内を行った学生の人数

3人 (内訳 3 学年 観光科 3人、 学年 普通科 0人)

3. JR 観光路線バスを活用した体験学習について

今回の体験学習は、学生自らが観光サービスを体験する中で、観光客の利便性を向上のために、「何が必要なのか？」を考える場でした。

◆学生にとって、今後の授業や社会生活における良い刺激となったと感じましたか？

(感じた) ・ (感じなかった)

◆良かった点、改善したい点がありましたら、ご記入ください

(事前準備、特に JR 観光路線バスに関する情報収集等)

4. 十和田市観光推進課との事業連携において、「こんなことができた」「こんなものがあつたら」など望むことがありましたら、お聞かせください。

今、思いつかないので、思いついたら連絡します。

お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

【担当・提出先】

十和田市 観光推進課 佐々木教子

電話 0176-51-6772

FAX 0176-22-9799

メ-ル noriko_sasaki@city.towada.lg.jp